

.....

# うきたむ考古通信

.....

2017年2月号

■発行者	うきたむ考古の会
事務局	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 内 〒992-0302 山形県東置賜郡高畠町安久津2117 電話0238-52-2585 Fax 0238-52-4665

## ♥平成29年を迎えて

雪のない穏やかな年明けとなりましたが、中旬からは一転して大雪となっています。この間、歴史公園管理組合の皆さんから、ロビーにいつものように「だんごの木」を取り付けていただき、色とりどりの飾り付けを行いました。酉年の今年、開館から30年目を迎えることとなります。大いに羽ばたきたいものです。

1月も、後半に入り、年度内に予定されている事業も後述するように残り少なくなってきましたが、会員の皆様には是非参加していただきたいと思っています。今年度の入館者は既に9,000人を越え、ここ15年間で最多となる見込みですが、冬場部入って失速し、年度途中でもしかすると期待した1万人には届かない見通しです。

今年度の企画展「森と暮らせば—縄文人の植物利用—」に続き、弥生時代と古墳時代の木製品に焦点を当てたいと考え、その準備に入っています。山形県にない弥生時代の木製品は仙台市教委からお借りできる見通しとなりました。期待していただきたいと思っています。

また、来年度も概ね今年度にスライドした時期に、今年度と同じような事業を多くの皆様に参加できるような内容で開催するための準備を進めています。こちらもご期待していただきたいと思います。

### 館共催事業の報告と案内

## 📍第X I 期うきたむ学講座

今年度のうきたむ学講座は「置賜の歴史と生活をさぐる」をテーマに4回開催することとしており、10月29日(土)の特別講座に続き、1月15日(日)に戦国時代の伊達氏と城郭・城下町について最新の調査成果を踏まえ、福島県伊達市教育委員会の今野賀章氏による「伊達氏のふるさと梁川城」と米沢市教育委員会の宮田直樹氏による「伊達時代

の米沢」の講座が開催されました。寒波が押し寄せ荒天の中でしたが、24名の方の参加がありました。事前に予約した方も大雪による除雪に追われ、参加できなかった方が多かったのが残念でした。

引き続き、2月12日(日)には「置賜の産業 焼き物編」として高橋 拓氏(飯豊町教委)による「近世置賜の窯跡」、渡辺芳郎氏(鹿児島大学)による「江戸前期の地方窯業」の講座が開催されます。近年の発掘調査でその存在が確認された飯豊町の近世窯跡を中心に置賜地方の焼き物の歴史を明らかにすることによって、これまであまり知られていなかった置賜地方の窯業を解明し、人々の生活に密接な焼き物の歴史理解を深めることを目的としています。なお、講座に先立ち午前10時から主として置賜から出土した近世陶磁器(山形県教委保管)について渡辺先生から解説していただきたいと考え、借用することとしましたので、こちらの方にも、是非ご参加下さい。

今講座の最後となる3月5日(日)には「置賜の生活」と題し、阿部宇洋氏(公財 農村文化研究所)による「戦前・戦中の置賜の民俗」、伊藤義隆(氏)(川西町文化財保護協会)による「川西町の石造物」と題した講座を実施いたします。

## 📍 2016年度山形の考古資料検討会のご案内

例年同様、今年度も山形考古学会と共催で開催いたします。今年は(公財)山形県埋蔵文化財センターの発掘調査が置賜の4遺跡で実施されたほか、米沢市教育委員会による2ヶ年計画の大規模発掘調査が実施されるなど、新たな資料が蓄積されてきています。

今年度は下記の要項で開催いたします。多くの会員の皆様の参加をお待ちしています。

1. 事業名称 山形の考古資料検討会
2. 開催期日 平成29年2月5日(日) 午後1時から午後4時30分
3. 開催趣旨 平成28年度に県内で行われた発掘調査やこれまでに発掘された資料について関心を高めるとともに、考古学の進展、文化財保護の気運の醸成をはかることをねらいとして開催するものである。
4. 会場 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 研修室
5. 主催 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館
6. 共催 山形考古学会
7. 内容 下記のとおり

### 【基調報告】(報告20分・質問5分)

「2016年県内の発掘調査の概要」

山形県教育庁文化財・生涯学習課 竹田純子 氏

### 【調査報告】(順不同)(発表20分・質問5分)

「壇山古窯跡群」(川西町)	山形県埋蔵文化財センター	天本昌希 氏
「八幡西遺跡」(川西町)	山形県埋蔵文化財センター	菊池玄輝 氏
「馳上遺跡8次」(米沢市)	山形県埋蔵文化財センター	渡辺和行 氏
「大南遺跡」(米沢市)	米沢市教育委員会	佐藤智幸 氏
「日向洞窟西地区遺跡」(高島町)	東北芸術工科大学	長井謙治 氏
「日向洞窟遺跡範囲確認調査」(高島町)	高島町教育委員会	井田秀和 氏

### 第43回古代城柵官衙遺跡検討会開催要項

期 日 平成29年2月25・26日(土・日)  
会 場 宮城県多賀城市東北歴史博物館講堂 (多賀城市高崎一丁目 22-1 TEL022-368-0101)  
主 催 古代城柵官衙遺跡検討会  
共 催 東北歴史博物館多賀城市教育委員会宮城県考古学会  
日 程 第1日目 2月25日(土)

12:30～ 開場・受付  
13:30～13:40 開会・開会挨拶世話人代表須田良平

#### 平成28年度調査成果報告

13:40～14:05 秋田城跡第107次調査(秋田市立秋田城跡歴史資料館)  
14:05～14:30 払田柵跡(秋田県教育庁払田柵跡調査事務所)  
14:30～14:55 多賀城跡第90次調査(宮城県多賀城跡調査研究所)  
14:55～15:10 ー休憩ー

#### 城柵官衙遺跡等総括報告

15:10～15:45 鳥海柵跡(金ヶ崎町教育委員会)  
15:45～16:20 陸奥国分寺・尼寺跡(仙台市教育委員会)  
16:20～16:30 ー質疑応答ー  
16:30～ ー移動(各自)ー

#### 情報交換会

18:30～20:30 ホテル法華クラブ仙台

第2日目 2月26日(日)

9:00～ 開場・受付

#### 特集『瓦の生産からみた城柵官衙・寺院の造営』

9:30～9:35 趣旨説明  
9:35～10:15 報告1「多賀城創建以前の瓦の生産」  
(南相馬市教育委員会 藤木海氏)

10:15～10:55 報告2「多賀城第I期の瓦窯跡と瓦の生産」(仮)  
(宮城県多賀城跡調査研究所 吉野武氏)

10:55～11:10 ー休憩ー

11:10～11:20 報告1・2 コメント

11:20～12:00 報告3「陸奥国分寺・尼寺跡と多賀城第II期における瓦の生産」  
(仙台市教育委員会 斎野裕彦氏)

12:00～13:00 ー昼食ー

13:00～13:40 報告4「陸奥国分寺の造営と造瓦組織の再編」  
(福島県文化振興事業団 菅原祥夫氏)

13:40～13:50 報告3・4 コメント

13:50～14:00 ー休憩ー

14:00～15:00 特集討論 司会：東北学院大学佐川正敏氏

15:00～ 閉会挨拶 世話人代表須田良平

#### 平成28年度調査成果資料報告

1. 片貝家の下遺跡(秋田県埋蔵文化財センター)
2. 赤川沼頭遺跡(横手市教育委員会)
3. 陣館遺跡(横手市教育委員会)
4. 菜切谷廃寺跡(加美町教育委員会)
5. 山王遺跡(多賀城市埋蔵文化財センター)

6. 郡山遺跡（仙台市教育委員会）
7. 原遺跡（岩沼市教育委員会）
8. 本郷遺跡（白石市教育委員会）

#### 参加申込方法

別紙の申込書に必要事項をご記入のうえ、下記事務局あてに FAX か Email、もしくは郵送にてお申し込みください。参加諸費用は当日会場受付にて頂戴いたします。なお、申込受付の確認を希望される方は、申込書に連絡先を明記のうえ、申込受付確認欄の希望するに○印をご記入下さい。

〒985-0862 多賀城市高崎一丁目 22-1

宮城県多賀城跡調査研究所古代城柵官衙遺跡検討会事務局（担当吉野）

FAX : 022-368-0104 TEL : 022-368-0102

Email : tagajo\_lab@pref.miyagi.jp

申込締め切り 平成29年2月3日（金）

※ただし、会場の定員が280名になり次第、締め切りとさせていただきます。

参加費用 参加費（資料代）2,000円

情報交換会 6,000円

26日昼食代（お弁当）1,000円

※検討会会場の東北歴史博物館には、仙台駅から **JR 東北本線で国府多賀城駅**（運賃240円）が便利です。

※座席、ロッカーには限りがあります。手荷物は少なめをお願いします。

※情報交換会会場の「ホテル法華クラブ仙台」は仙台駅西口から徒歩15分です。

※26日（日）の昼食にお弁当（1000円）をご希望の方は、別紙の申込書にてご予約ください。他に博物館内のレストラン、館外のレストラン・コンビニ・スーパーがご利用になれます。

※図書交換会参加希望者は、別紙申込書の記載欄に必要事項を記入し、事務局へお申込みください。

※宿泊施設につきましては事務局では斡旋いたしませんので各自でご予約ください。お早めのご予約をお勧めいたします